

平成27年度 学校評価 勇志国際高等学校

勇志の心	国を愛し 郷土を愛し 人を愛する
教育方針	親孝行する青少年たれ 志ある人間たれ 誇りある日本人たれ 役に立つ国民たれ 尊敬される国際人たれ
指導方針	生徒の長所を認め長所を伸ばすことを、生徒指導に当たっての指針とする。短所を指摘し矯正する方法は採用しない。

評価基準	A・・・ほぼ達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
------	----------	----------	-----------	---------

評価項目	具体的方策	達成状況	評価	次年度への改善点
学習指導				
1 道徳教育の確立	①科目として教育課程に入れている。 「高校生のための道徳 この世にダメな人間なんて一人もいない!!」を教科書として使用している。	①開校以来、校長自ら道徳の授業を行っている。充実した道徳教育ができています。	A	日本人としての誇りを持つ生徒を育成するために、日本の正しい歴史・道徳教育を今後も行っていく。
2 スクーリングの充実	②離島である御所浦での集中スクーリングで「非日常」を体験させる。 毎年参加者へアンケートを実施している。平成27年度回答者713名	②スクーリングを通して生徒の成長が見られた。アンケート結果 スクーリングに対する心境変化 【参加前】 とても楽しみ 5.8% 楽しみ 16.3% 特にない 22.5% 少し嫌 25.1%	A	次年度も怪我、事故のないスクーリングを目指す。 アンケート結果ではスクーリング参加後は90%が楽しいと感じているが、参加前は少し嫌、参加したくないが55%を占める。 参加すれば楽しさを実感できるので、参加前の不安を取り除くことが必要。

<p>3 ネット活用の充実</p> <p>4 各種検定受験指導</p>	<p>③無料で受講できるネットライブ授業を配信している。 ビジネスコースを開設した。 各種ネット活用の有効利用を図る</p> <p>④科目として漢字検定、英語検定、パソコン検定を教育課程に入れている。 各種検定合格を目標設定し、受験を勧める。</p>	<p>参加したくない 30.3%</p> <p>【参加後】</p> <p>とても楽しかった 42.3%</p> <p>楽しかった 34.6%</p> <p>少し楽しかった 13.6%</p> <p>特にない 5.3%</p> <p>やはり嫌 4.2%</p> <p>③平成27年度ネット授業の延べ参加人数は1261名である。 ネットで面談、交流会、HR、ガイダンス等を実施した。</p> <p>④平成27年度の各種検定は受験者378名、合格者219名であった。 上位級の合格 英語検定2級、漢字検定2級、日本語検定2級、ワープロ検定1級、情報処理検定1級等</p>	<p>初めて参加する生徒には、事前にスクーリングに関する情報を提供し、不安を取り除く。</p> <p>B ネット授業は1人でも多くの生徒が参加するように常に創意工夫を重ねる。 新しいネット活用を企画し提供する。</p> <p>B 検定に対する意識を高め、全体の受験者を増やす。 全体の合格率をアップさせる。 上位級の合格者を増やす。</p>
<p>キャリア教育</p> <p>1 進路指導の充実</p> <p>2 職業観の育成</p>	<p>①学年に応じた進路ガイダンス等、継続的な進路指導を行う。 進学希望者には進学コースを勧める。 進路資料として「卒業生による大学紹介」を発行した。</p> <p>②礼儀・マナー講座を実施している。 就職希望者には在学中のアルバイトを奨励する。</p>	<p>①平成27年度の進学希望者の決定率は81%、就職希望者の決定率は68%、進路決定率は76%である。 「卒業生による大学紹介」は改善の余地がある。</p> <p>②通信制ゆえ継続した指導は難しい。アルバイトは時間に余裕がある通信制の強みを生かす。</p>	<p>B 国公立大学、上位私立大学の現役合格実績を出す。 指定校推薦を有効に使う。 卒業生とも定期的に連絡を取っていく。</p> <p>B インターンシップを実施する。 就職は正雇用を目指す。</p>

生徒指導	<p>①【いじめ対応に関する基本原則】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを絶対許さない学校 ・教職員はいじめを未然に防ぐ深い洞察力と継続した行動力を持つ ・生徒はいじめを見たら止める勇気を持つ <p>②ソーシャルメディアガイドラインに沿って、定期的に注意を呼びかけている。</p> <p>③「親孝行する青少年たれ」を実践するため、平成26年度から「親孝行コンクール」を実施している。</p>	<p>①いじめがあった場合、全教職員で情報を共有し、一丸となって継続した指導を行う。</p> <p>ネットいじめ防止のため、SNSにも注意していく。</p> <p>②不適切な書き込み等が発覚した場合、削除及び今後への指導を行う。</p> <p>③平成27年度は「第2回親孝行感謝の手紙コンクール」を実施し、780名の応募があった。大賞、奨励賞、努力賞で表彰した。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>いじめに対しては全教職員が毅然と対応し、いじめを許さない校風を構築する。情報共有システムの一層の充実を図る。</p> <p>不適切な書き込み等から生徒を守るために、次年度から業者と提携し、検索・監視を実施する。</p> <p>次年度は800名以上の応募を目指す。親孝行する生徒を育成する。</p>
安全管理	<p>平成27年度の集中スクーリングは21回実施した。</p> <p>本校教職員は地域の消防団に入っている。</p>	<p>開校以来、大きな怪我、事故のないスクーリングが継続できている。</p> <p>毎日の清掃や敷地内の危険物の除去など環境整備も怠らない。</p> <p>避難訓練を実施した。</p>	<p>A</p>	<p>災害はいつ起きるかわからない。スクーリング中に起きることも有り得る。油断することなく、生徒の安全を第一に次年度も無事故を目指す。</p> <p>平常時から災害等に備えた役割分担を明確にしておく。</p>
情報提供	<p>学校通信「ポプラ通信」を毎月発行し、家庭に郵送している。</p> <p>HPでも計画的に情報提供を行っている。</p> <p>一斉メール配信も行っている。</p>	<p>ポプラ通信を毎月楽しみにしている生徒、保護者も多い。</p> <p>HPの迅速な更新を行なっている。</p> <p>アドレス等の生徒個人情報徹底管理している。</p>	<p>A</p>	<p>次年度も引き続き各種情報提供をしていく。</p> <p>情報配信として新たにフェイスブックとブログを活用する。</p>

地域との連携	<p>「絆の日」では教職員・生徒と地域の皆様と共に清掃活動を行っている。地域の各種行事へ参加している。</p>	<p>東日本大震災以降、毎月11日を「絆の日」として清掃活動を行っている。既に44回の活動を終えた。</p>	A	<p>今まで以上に地域の皆様に対する感謝の念を忘れず、取り組んでいく。</p>
教職員研修	<p>校長による勉強会を毎月実施している。研修旅行も実施している。</p> <p>【勇志国際高校の教職員の心得】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育者は、聖職者である。 2 教育者は、自らを鍛錬し、生徒に対しては長所を伸ばす指導法を基本とする。 3 教育者は、自己責任を行動原理とする。 4 教育者は、学校の健全な発展に努める。 5 教育者は、教育は国家百年の大計と心得る。 6 教育者は、生徒の教育を本位として行動する。 7 教育者は、教育を通して利他の精神に基づく文化を創造する。 8 教育者は、国を愛し、郷土を愛し、人を愛する。 9 教育者は、正しい歴史観と国家観が教育の基本と認識する。 10 教育者は、問題行動に対しては、毅然とした態度で適切な指導を行う。 	<p>教職員の意識が確実に向上している。ネット会議システムも利用している。</p> <p>全教職員が心得を正しく理解し、実践できている。</p>	A	<p>次年度も同様に勉強会を実施する。</p> <p>全教職員が使命と責任を果たせるように努力を続ける。</p>